



学校だより

浜小HP <http://www.ama-net.ed.jp/school/E15/index.html>

令和元年 10月2日(水)
尾崎市立浜小学校
校長 中根 孝介
06-6499-1536



みんな力いっぱい、笑顔いっぱい、最高の一日！

「勝っても負けても笑い合える最高の一日にしよう！」をテーマに体育大会を実施しました。まさしく、テーマ通り、勝っても負けても笑顔いっぱいの体育大会になりました。浜っ子達のがんばりの素晴らしさに、改めて感動しました。そして、それを支えてくださったご家庭や地域の皆様の力に感謝いたします。ありがとうございました。PTA 執行部の皆様には、裏方としても大変お世話になりました。重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。

一番時間をかけて練習した表現を中心に、力いっぱいの演技や競技の感想を述べたいと思います。

徒競走・リレー

こけても、バトンを落としても最後まで自分の力を出し切って、走っている姿が印象的でした。

団体競技

どうしたらよいか自分達で工夫し、力いっぱい、笑顔いっぱいで、応援し、競技しました。

1年生「ハママ・フェスティバル」

メガホンのぼんぼんという音と、一つになったかけ声が運動場中に響き、素晴らしかったです。移動がととてもすばやく、1年生の一生懸命さが心に響きました。にっこりにこの笑顔いっぱい、元気いっぱいの演技でした。

2年生「心遊ばせ、あなたに届け」

赤・青・黄色のスカーフが似合っていてとても素敵でした。流行の曲にのって、かわいい振り付けが2年生の踊りで、さらにかわいくなり、見ていると、思わずにっこり笑顔になりました。きれっきれの振りには、びっくりです。

3年生「浜っ子アンブレラ」

カラフルなアンブレラ かさが雨上がりの虹のように感じられました。心がひとつ、旗の動きのひとつになったフラッグの動きが決まっていました。手拍子もばっちりそろい、おしゃれなポーズもきまっていました。

4年生「プレイボール！」

ボールをぽんぽんと地面につく音がひとつになり、とっても心地よく、胸が弾む思いでした。ペアやグループでの難しいボールのやりとりにも、練習の成果がばっちり表われていました。

5年生「浜ソーラン 2019 ～和～」

さっそうと、とにかくかっこよかったです。かけ声もまとまり、荒海の厳しさと戦う強さも感じられました。「動と静」…動きにメリハリがあり、次々と変わる隊形にも見応えいっぱいでした。さすが5年生です。

6年生「飛翔 ～94人の友と共に～」

引き締まった演技が、真剣な目と態度に表われていました。練習では「最後まで諦めずに頑張るといふ熱意」と「危なかったら中断するといふ勇気」の判断が求められました。練習を積むにつれ、6年生全員の熱も強く感じられるようになり、リハーサルの演技では、それが一気に、そして一段と引き締まっていました。一人一人の力と、それが合わさった集団の力のすばらしさに6年生の大きな「成長」を観ることができました。素晴らしい演技をありがとう。

応援団とみんなの応援態度

休み時間や朝の時間に練習し、大きな声で立派な応援ができました。競技している人たちも自然と力が入り、大きな励みになりました。

ご家庭の皆様、体育大会には、多数ご来校いただき、子ども達へのたくさんの励ましと声援をいただきありがとうございました。子ども達にとって何よりの喜びは、しっかり演技・競技できたという満足感と、さらにそれを大きくしていく周囲の人からの賞賛の声です。

「ほめられて伸びる」とは、いろいろな場面でよく言われます。ほめられることで意欲と自信を持ち、励まされることで、くじけず挑戦する心を持ちます。

子ども達はこれまで一生懸命練習してきました。たとえ失敗したとしても、たとえ競技に負けたとしても、子ども達のこれまでのがんばりを認め、いっぱい、いっぱいほめていただけたらと思います。

来賓の皆さん、保護者の皆さん、長時間どうもありがとうございました。また、近隣の皆様、放送等でご迷惑をおかけしたことも多々あったと思います。ご理解とご協力をありがとうございました。

創立記念日 (10月2日)

今日、10月2日は、浜小学校の創立記念日です。

浜小学校の前身は昭和15年に尼崎市立浜尋常小学校として開校しました。翌16年に尼崎市立浜国民学校と改称しました。戦禍の広がり懸念される中、19年には第1次学童集団疎開が始まり、20年には全員が集団疎開したそうです。疎開先は兵庫県の北部の氷上郡(当時)であったそうです。現在はそのほとんどが丹波市市島町となっています。戦争真っ只中の上、親元から離れての疎開は、たいそう不安だったことだと思います。

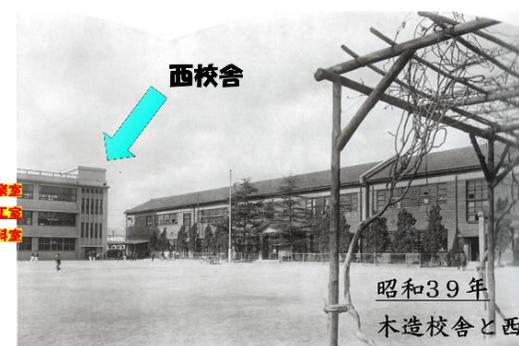
昭和20年6月15日の午前10時頃、尼崎の浜近辺に空襲がありました。児童は疎開をしていたため、被害にあった児童はいませんでした。校舎は全焼してしまいました。同年8月に終戦を迎え、11月には次々と集団疎開から引き揚げてきましたが、焼けてしまっていたため、学校はありません。ついに11月30日には廃校となってしまいました。やむを得ず、児童は下坂部小学校、杭瀬小学校の2校に分散して、入学しました。

その後、多くの方々の労力と支援があり、**昭和23年7月1日**に「**尼崎市立浜小学校**」として復校し、同年**10月2日**に開校式を挙行。以後、**浜小学校はこの日を創立記念日**としています。

戦災で全焼した学校ですが、廃墟の中から立ち上がり、地域や保護者、行政、学校が一体となって復校に力を注がれました。それから70年を超える年月が経過しましたが、今でも浜小学校には、**不撓不屈**の精神が脈々と受け継がれています。学校の復校に努力された先人、これまで浜小学校を支えてくださった皆さんの努力に感謝するとともに、心より創立記念日をお祝いしたいと思います。



昭和26年頃 当時の木造校舎



西校舎

昭和39年 木造校舎と西校舎

昨年は、PTAやPTAを卒業された方々より、真新しい校旗と副校旗、横断幕を寄贈していただきました。長年、浜っ子を見守ってくれた校旗は、静かにその役割を終え、大切に保管されることになりました。

そして、これからもひとりひとりが浜小学校と地域に愛着と誇りを持つことができるよう願っています。

※不撓不屈 (ふとうふくつ) …強い意志を持ってどんな苦労や困難にもくじけないこと



H30 校旗贈呈式

<校歌と校章、新調していただいた校旗>

浜小学校 校歌

昭和三〇年 制定

作詞：西田春一(第四代校長)

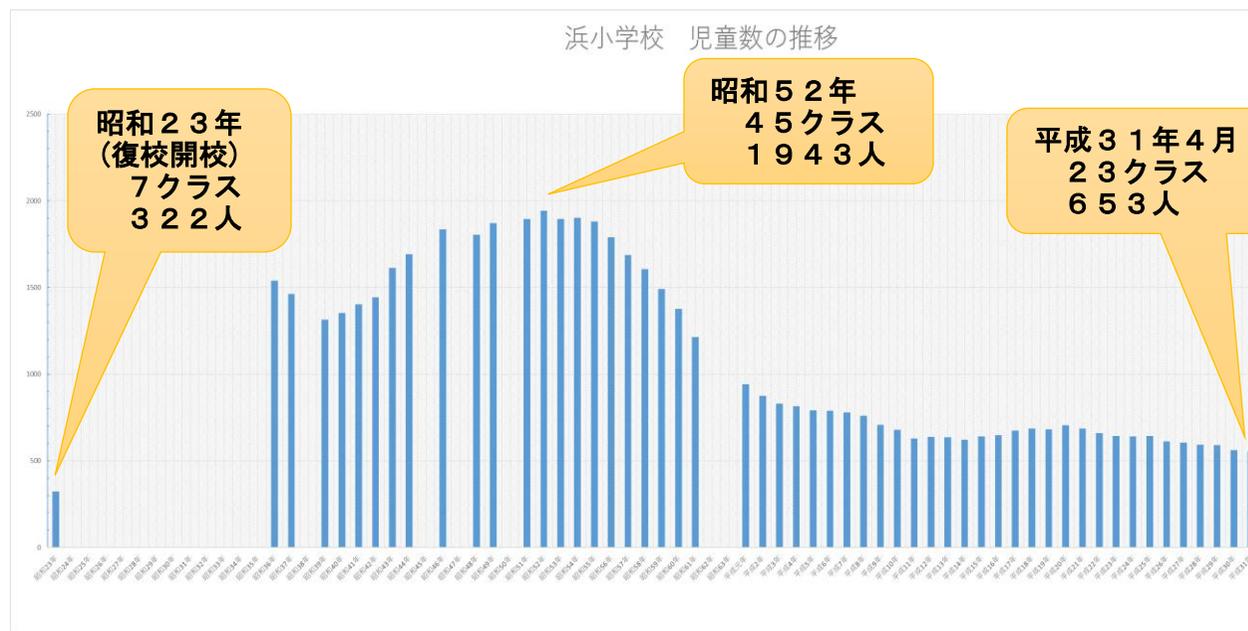
作曲：津田貞臣

1 武庫の山並み 松清く
流れゆたけき 神崎の
古跡のゆかり 咲きにおう
学びの庭の 若草よ
強く正しく 健やかに
幸ある子らと 生い立てり

2 青空高く 煙立ち
正気みなぎる 小墾田野
文化の泉 汲みいでて
浜の鏡の くもりなく
雄々しく 励み つとめつつ
栄えある子らと 進まなん



新しい校旗



《おしらせ》

○9月より、産休に入りました3年2組の藤井久美子先生に代わりまして、立井将貴先生が、3年2組の担任として着任しています。

○主に低学年の学習支援員として担当していただいた久住正代先生が怪我のため、休職しています。